

木のシリーズ ウッドパーティション

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入りポリエチレン樹脂でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分ご注意ください。
 - ・平らな場所に保管してください。(立てかけて置かないでください)
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- デッキ上に設置する場合は、あらかじめ指定の床板補強材を組込み施工してください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 支柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがないでください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って(平行)行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等をしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

■梱包明細表

①主柱(ベース仕様)セット

名 称	略 図	員 数	
		T-12 以下	T-14 以上
主柱(ベース仕様)		1	1
柱スリーブB		1	1
①-① φ4×35サラタッピン ネジ2種 D=8 G=5		4	4
①-② φ5×40サラ特殊ネジ		4	4
①-③ φ4×19サラピラスネジ		4	4
①-④ φ5×60ナベピラスネジ		10	8
取付説明書<C281>	—	1	1
取扱説明書<UE020>	—	1	1

②主柱(埋込仕様)セット

名 称	略 図	員 数
主柱(埋込仕様)		1
取付説明書<C281>	—	1
取扱説明書<UE020>	—	1

③コーナー柱(埋込仕様)セット

名 称	略 図	員 数	
		T-12 以下	T-14 以上
コーナー柱(埋込仕様)		1	1
コーナー柱化粧材		1	1
③-① φ4×35サラピラス ネジ D=8		2	3
取付説明書<C281>	—	1	1
取扱説明書<UE020>	—	1	1

④柱控部材セット(T-14以上)

名 称	略 図	員 数
柱控部材		1
④-① φ5×60ナベピラスネジ		6
④-② φ3.8×20ナベ特殊ネジ		8

⑤ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数	
		A	B
ベースプレートA		1	—
ベースプレートB		—	1

⑥パネル上下枠セット

名 称	略 図	員 数
上枠		1
下枠		1
上枠組付金具		2
下枠組付金具		2
下枠組付ゲージプレート		1
補修用研磨紙A		1
⑥-① φ3.8×32サラ特殊ネジ		4
⑥-② φ4×30ナベピアスネジ		4
⑥-③ φ3.8×20ナベ特殊ネジ		10
⑥-④ M5×45サラ小ネジ		2

⑦柱キャップセット

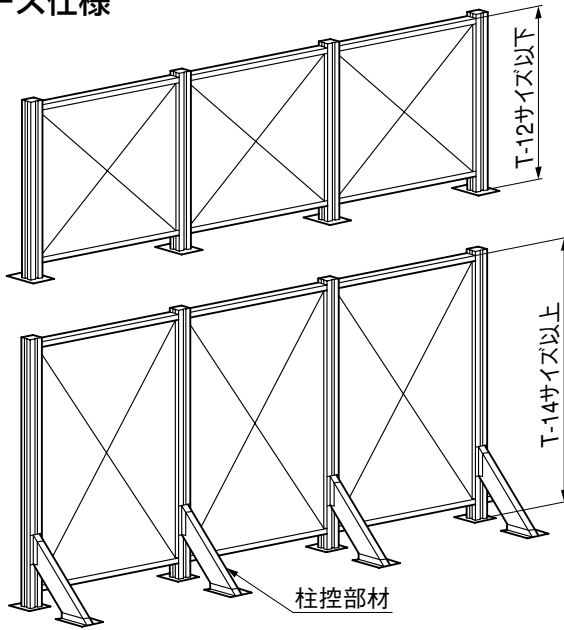
名 称	略 図	員 数	
		A	C
柱キャップA		1	—
柱キャップC		—	1
⑦-① φ4×30サラタッピンネジ1種		2	—
⑦-② φ3.8×32サラ特殊ネジ		—	4

⑧ラチスパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		T-14以下	T-18
ラチスパネル		1	1
ラチス枠固定金具		—	4
⑧-① φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	8
⑧-② φ4×20トラスタッピンネジ3種 D=8		—	4
⑧-③ φ4×30トラスタッピンネジ3種 D=8		—	2
⑧-④ M4六角袋ナット		—	4
⑧-⑤ M4平座金		—	8

1. 施工時の重要注意項目

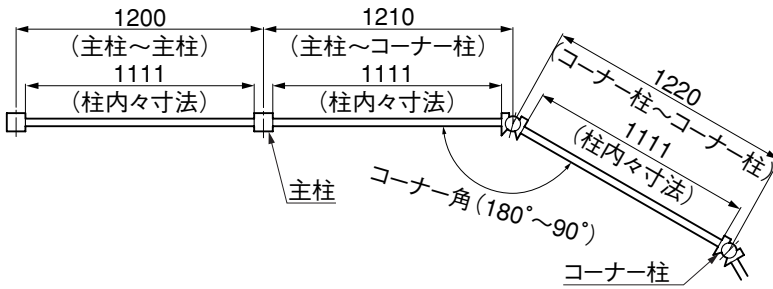
1-1 ベース仕様



ポイント

- 左図のようにT-14以上のフェンスには、必ず柱控部材を組付けてください。
- 柱のベースプレートおよび控部材固定金具の下に、桁または床板補強材が入っていることを確認してください。入っていない場合は、「樹の木シリーズ デッキ(E119)」の取付説明書を参照してください。

1-2 埋込仕様

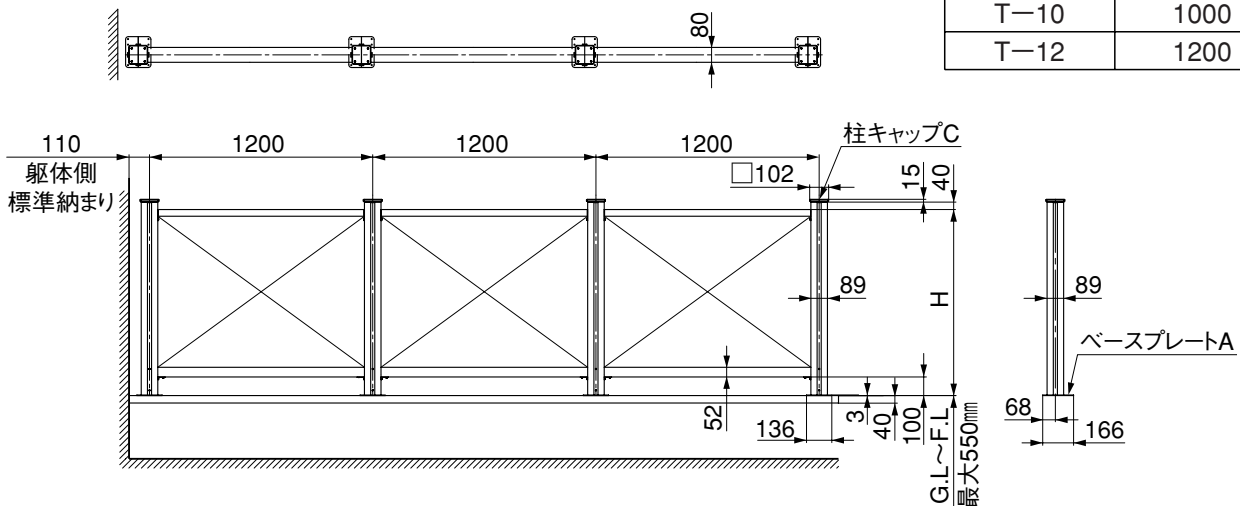


補足

- 左図のようにコーナー柱を使用する場合、柱ピッチが変わりますので注意してください。
- コーナー角の対応角は180°～90°です。

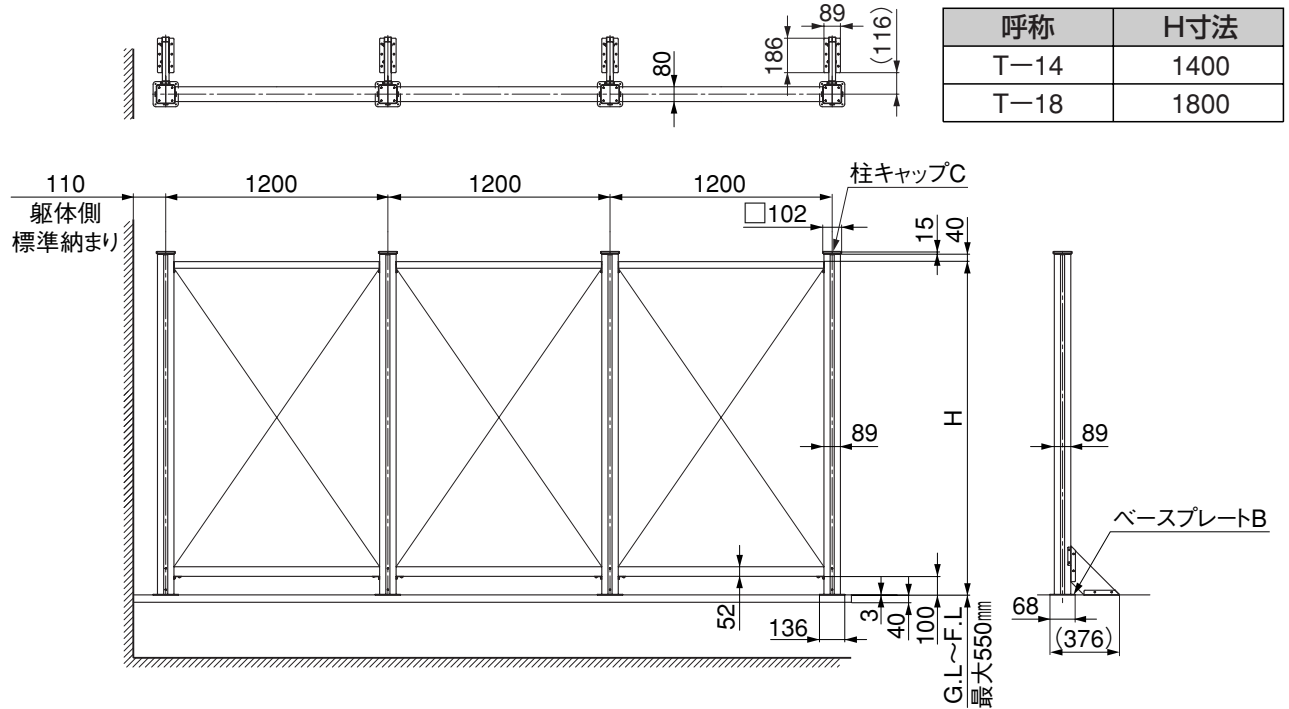
2. 基本寸法図

2-1 ベース仕様 T-8～12

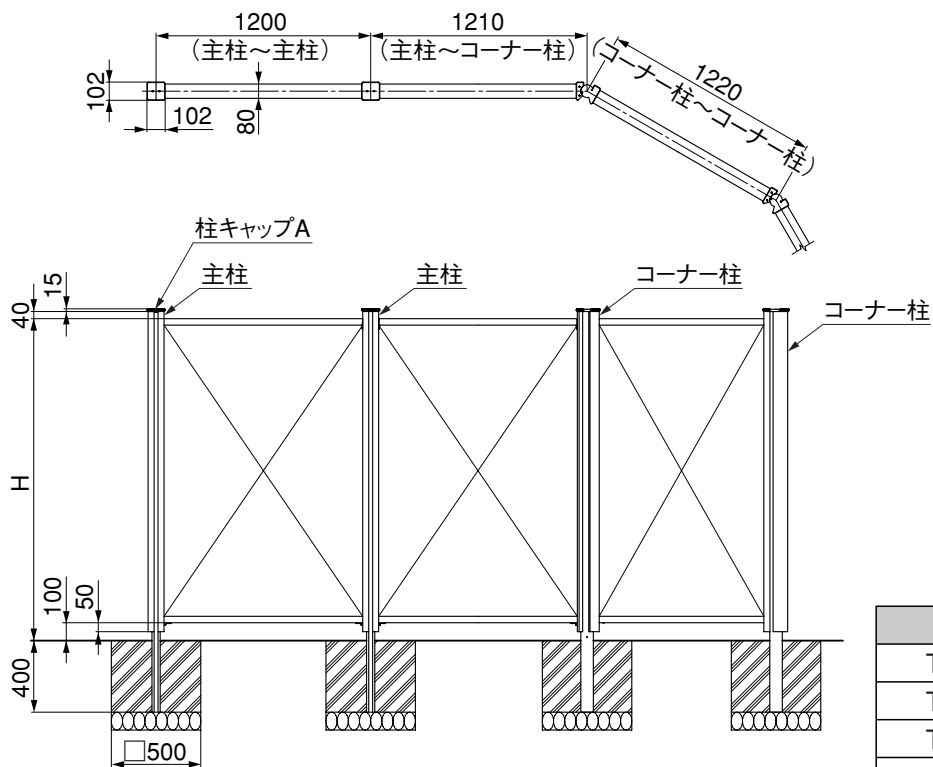


呼称	H寸法
T-8	800
T-10	1000
T-12	1200

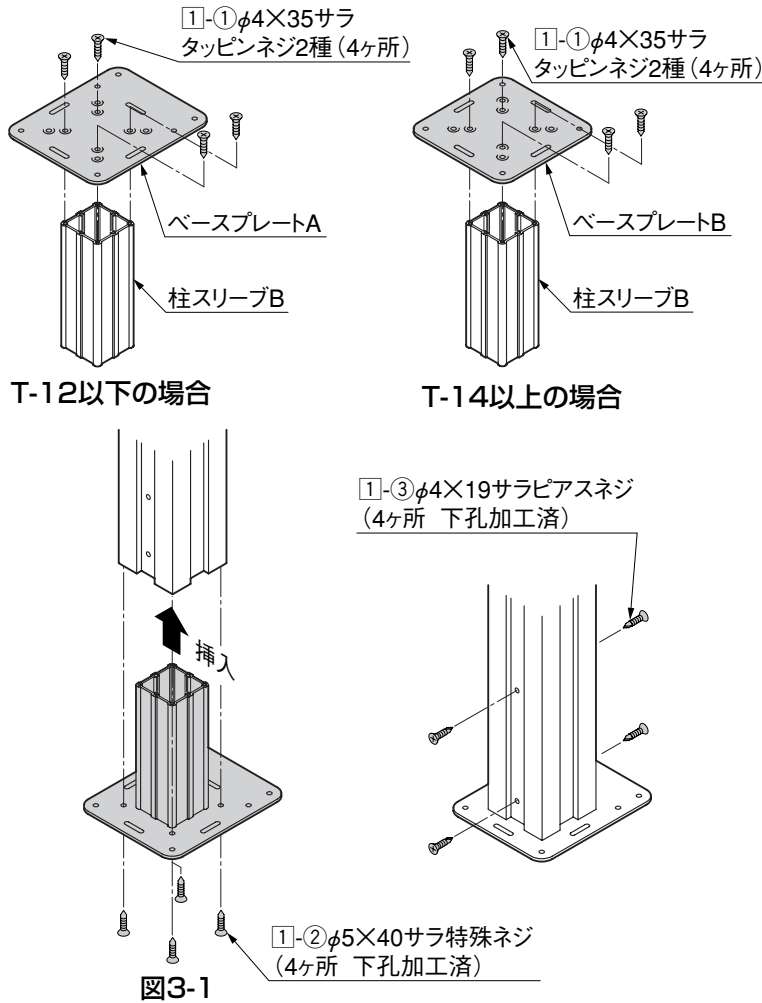
2-2 ベース仕様 T-14・18



2-3 埋込仕様



3. 柱の準備



補足

● 柱には上下の区別があります。

① ベースプレートA, Bと柱スリーブBを、
①-①で4点固定してください。

② 主柱の下側(孔加工された側)から、
ベースプレートA, Bを組付けた柱スリ
ーブBを図3-1の向きに挿入してくだ
さい。

補足

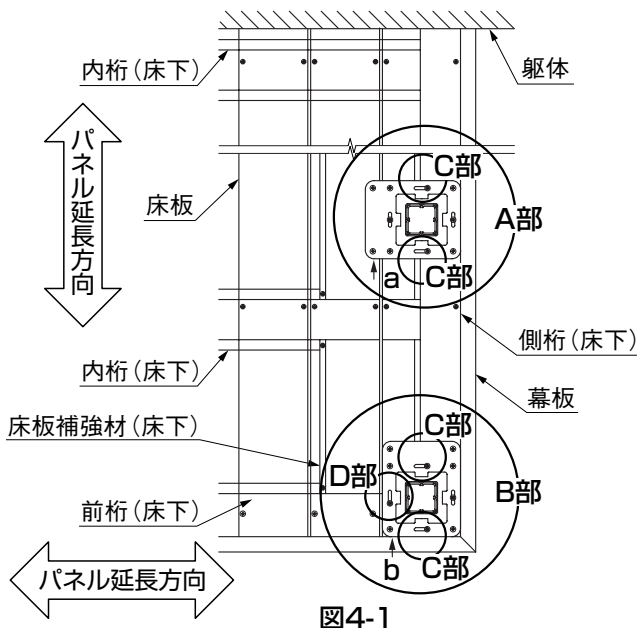
● 図3-1はT-12以下のとき(ベースプ
レートA使用時)です。T-14以上の
ときはベースプレートBを使用します。
● ベースプレートBに方向性はありません。

③ ベースプレートA, Bの裏側から、①-②
で主柱とベースプレートBを固定して
ください。

④ 主柱の孔位置から①-③で、主柱と柱
スリーブBを固定してください。

4. 柱の組付け ※フェンスをデッキ外周に取付ける場合を想定しています。

4-1 T-12以下のベース柱



ポイント

● デッキの下に床板補強材が入って
いない場合は、「樹の木シリーズ」デ
ッキ(E119)を参照してください。
● 床板に下孔をあける際、基礎部の
アルミ型材まで貫通しないでくだ
さい。(床板のみ加工)

補足

● 90°コーナー部のベースプレート設
置方向は、図4-1(B部)に対して反
時計回りに90°回転しても構いません。

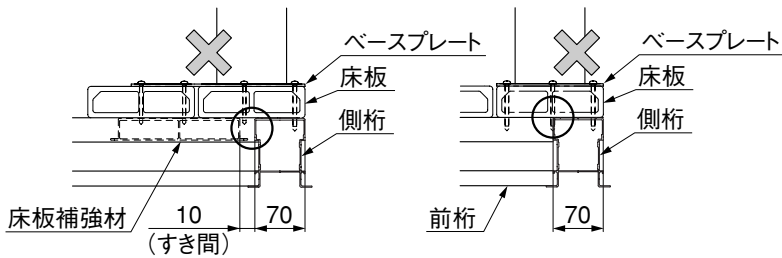


図4-2 a矢視図
A部パターンが悪い例

図4-3 b矢視図
B部パターンが悪い例

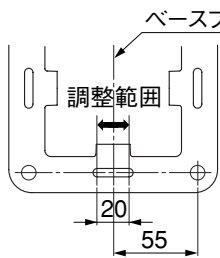


図4-4
B部詳細図

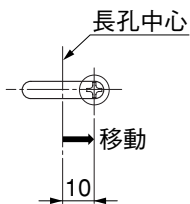


図4-5
C部詳細図

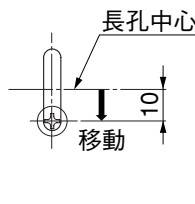
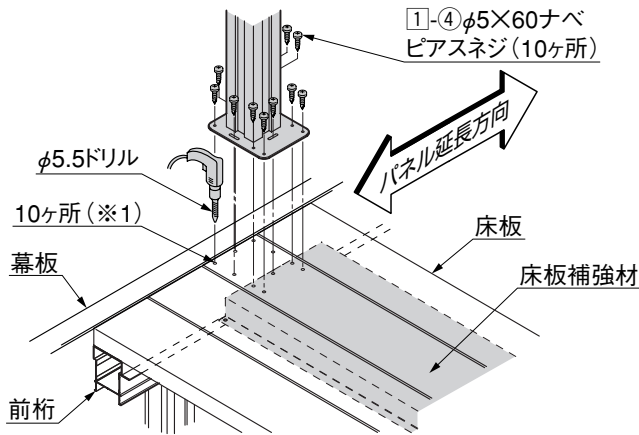


図4-6
D部詳細図



ポイント

- ベースプレートの長孔部分にネジを止める場合、基礎の補強材からネジが外れないように位置を調整してください。(図4-2, 4-3参照)
- C部の調整方法は長孔の中心より側桁側に10mm、D部の調整方法は長孔の中心より前桁側に10mmずらしてください。(図4-4, 4-5, 4-6参照)
- 図4-1は、フェンスを躯体に向かってデッキの右端に設置する場合を示しています。左端に設置するときは、左右反転しますので注意してください。

補足

- 図4-2はネジが床板補強材と桁のすき間に入る例、図4-3はネジが桁同士の継ぎ目にあたる例です。

- 1 デッキ上で柱の固定位置を割出し、ネジ位置に鉛筆などでマーキングしてください。(※1)
- 2 柱を一度脇にずらし、マーキングした位置の床板にφ5.5の下孔をまっすぐにあけてください。
- 3 ①-④でベースプレートを固定してください。

補足

- ①-④のネジを打つ際、入りにくい場合は基礎部のアルミ形材に、φ3.5の下孔をあけると固定しやすくなります。

4-2 T-14以上のベース柱 ※T-14以上の柱には必ず柱控部材を組付けてください。コーナー部は不要です。

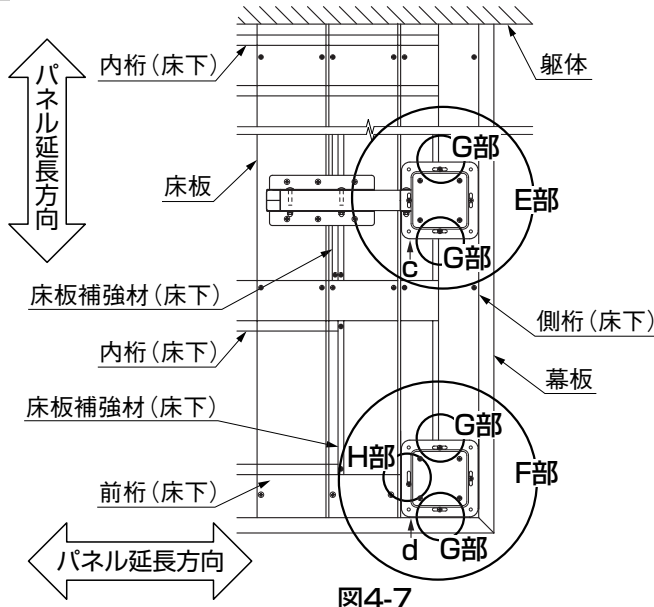


図4-7

ポイント

- デッキの下に床板補強材が入っていない場合は、「樹の木シリーズ デッキ (E119)」を参照してください。
- 床板に下孔をあける際、基礎部のアルミ形材まで貫通しないでください。(床板のみ加工)

4. つづき

4-2 つづき

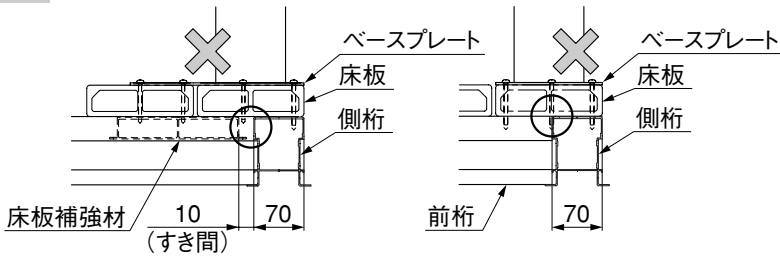


図4-8 c矢視図
E部パターンの悪い例

図4-9 d矢視図
F部パターンの悪い例

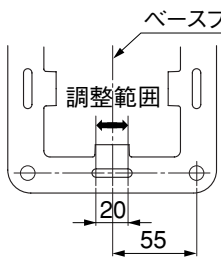


図4-10
F部詳細図

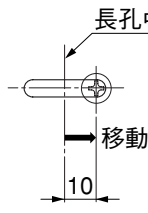


図4-11
G部詳細図

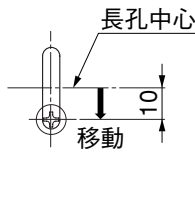
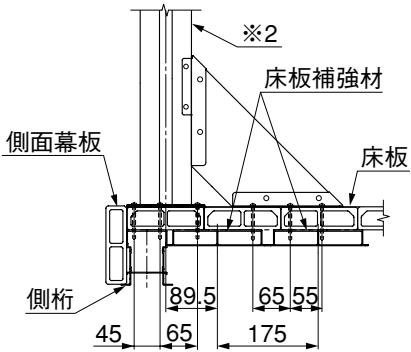
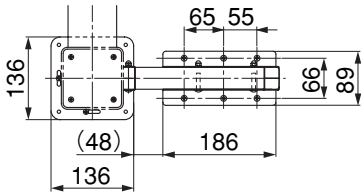
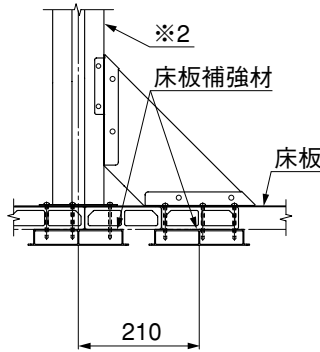


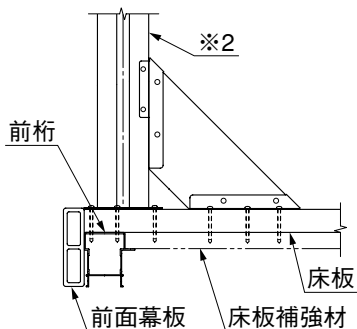
図4-12
H部詳細図



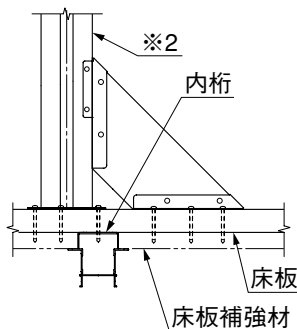
外周部
図4-13 デッキ側面部設置時の納まり



任意の位置



外周部
図4-14 デッキ前面部設置時の納まり



任意の位置

ポイント

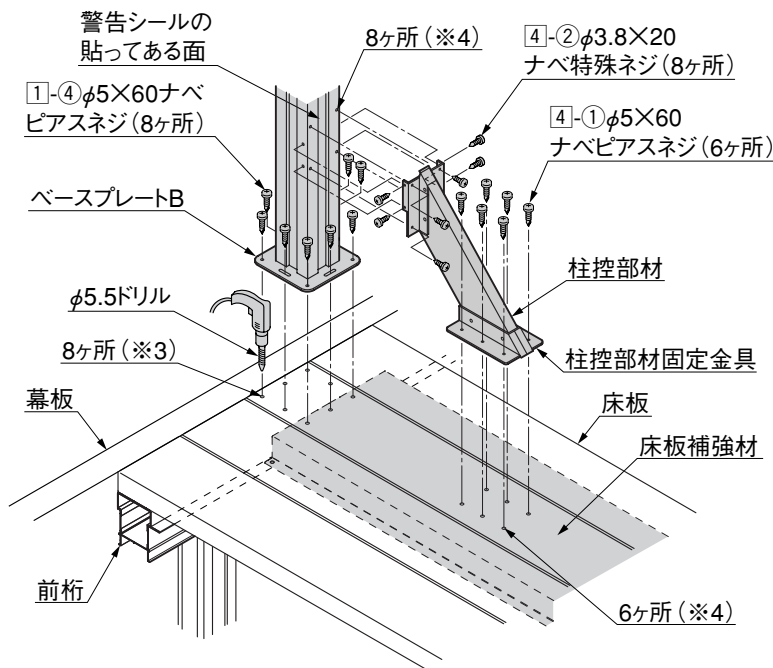
- ベースプレートの長孔部分にネジを止める場合、基礎の補強材からネジが外れないように位置を調整してください。(図4-8, 4-9参照)
- G部の調整方法は長孔の中心より側桁側に10mm、H部の調整方法は長孔の中心より前桁側に10mmずらしてください。(図4-10, 4-11, 4-12参照)
- 図4-7は、フェンスを躯体に向かってデッキの右端に設置する場合は、左端に設置するときは、左右反転しますので注意してください。
- フェンスを立てる位置によって、床板補強材の配置が変わってきます。以下に応じて確実に床板補強材に固定できることを確認してください。
- デッキの側面に立てる場合は図4-13、前面に立てる場合は図4-14を参照してください。

補足

- フェンスをデッキ前面方向の任意の位置に立てる際に、ベースプレートの固定ネジが桁をまたぐ等しますと、床板補強材が2枚必要になる場合がありますので注意してください。(図4-14参照)

ポイント

- T-14以上の柱には、つまずき防止用の警告シールが貼ってあります。必ず柱控部材が組付く面に警告シールが見えるように、柱の向きを合わせてください。(※2)
- ※2は警告シール貼付面です。



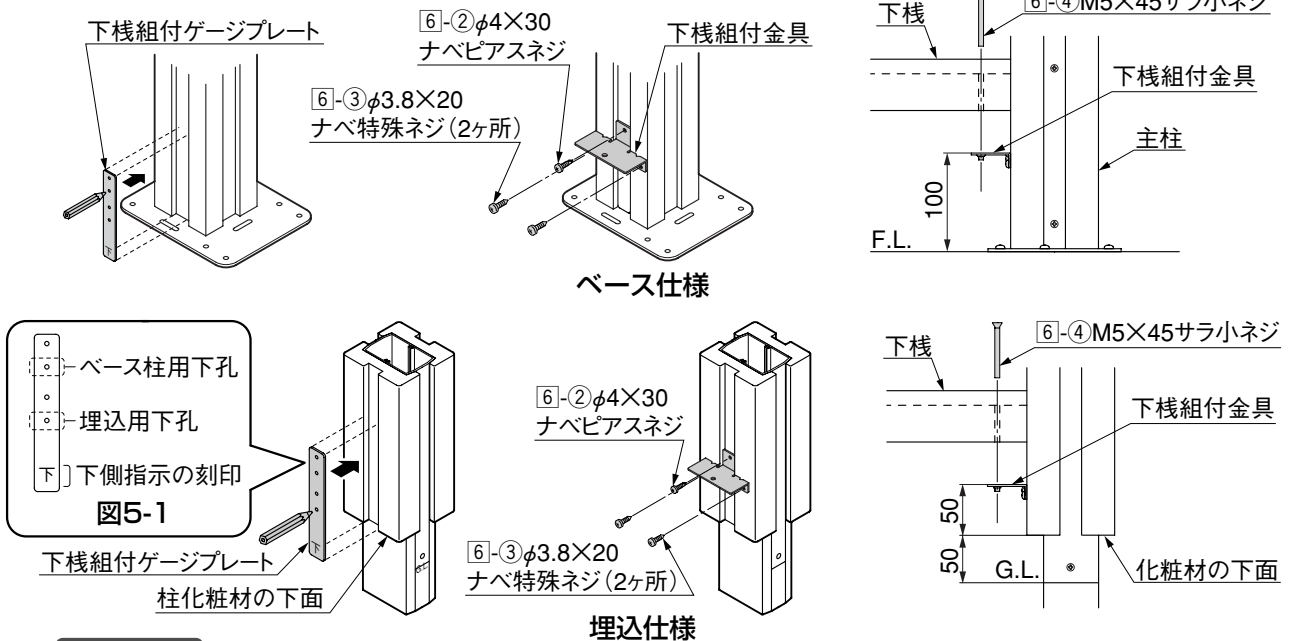
- ① デッキ上で柱の固定位置を割出し、ネジ位置に鉛筆などでマーキングしてください。(※3)
- ② 柱を一度脇にずらし、マーキングした位置の床板にφ5.5の下孔をまっすぐにあけてください。
- ③ ①-④でベースプレートを固定してください。
- ④ 柱控部材を所定位置にはめ込み、ネジ位置に同様にマーキングしてください。(※4)
- ⑤ 柱控部材を一度外し、マーキングした位置の柱にφ2.5、床板にφ5.5の下孔をまっすぐにあけてください。
- ⑥ ④-①および④-②でそれぞれ固定してください。

補足

- ①-④、④-①のネジを打つ際、入りにくい場合は基礎部のアルミ型材に、φ3.5の下孔をあけると固定しやすくなります。

5. 下棧の組付け

5-1 主柱 ※下棧の組付位置は、所定の高さから変更できません。



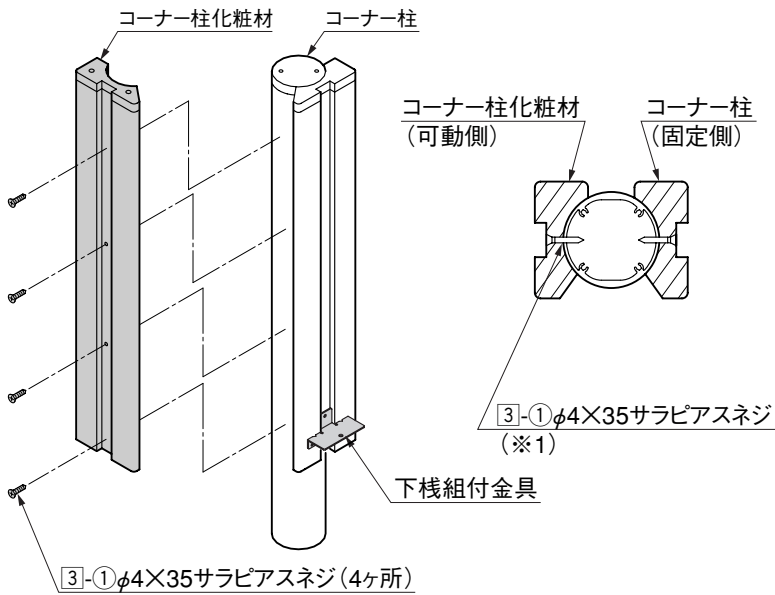
ポイント

- ゲージプレートには上下があります。「下」と刻印してある側を下に合わせてください。(図5-1参照)
- 柱溝部に下孔φ4.5をあける際に、中のスリーブまで貫通させないでください。(主柱のみに加工)

- ① パネルを入れる側の面に下棧組付金具を組付けてください。
- ② 柱の底面にゲージプレートの下面を合わせ、図5-1のように印をつけてください。
- ③ 印を付けた支柱溝部のネジ位置にφ4.5、他2点のネジ位置にφ2.5の下孔をあけてください。
- ④ それぞれのネジで柱と下棧組付金具を組付けてください。
- ⑤ 下棧をのせて⑥-④で下棧と組付金具を固定した後、パネルを挿入してください。

5. つづき

5-2 コーナー柱 (埋込仕様)



- 1 コーナー柱化粧材をコーナー角に合わせて組付けた後、下栈組付金具を組付けてください。

ポイント

- ネジを締込みすぎて化粧材を突き抜かないように注意してください。(※1)

補足

- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが異なるので注意してください。「1.施工時の重要注意事項」を参照してください。
- 2以降は「5-1 支柱 埋込仕様」を参照してください。

6. パネルおよび上栈の組付け

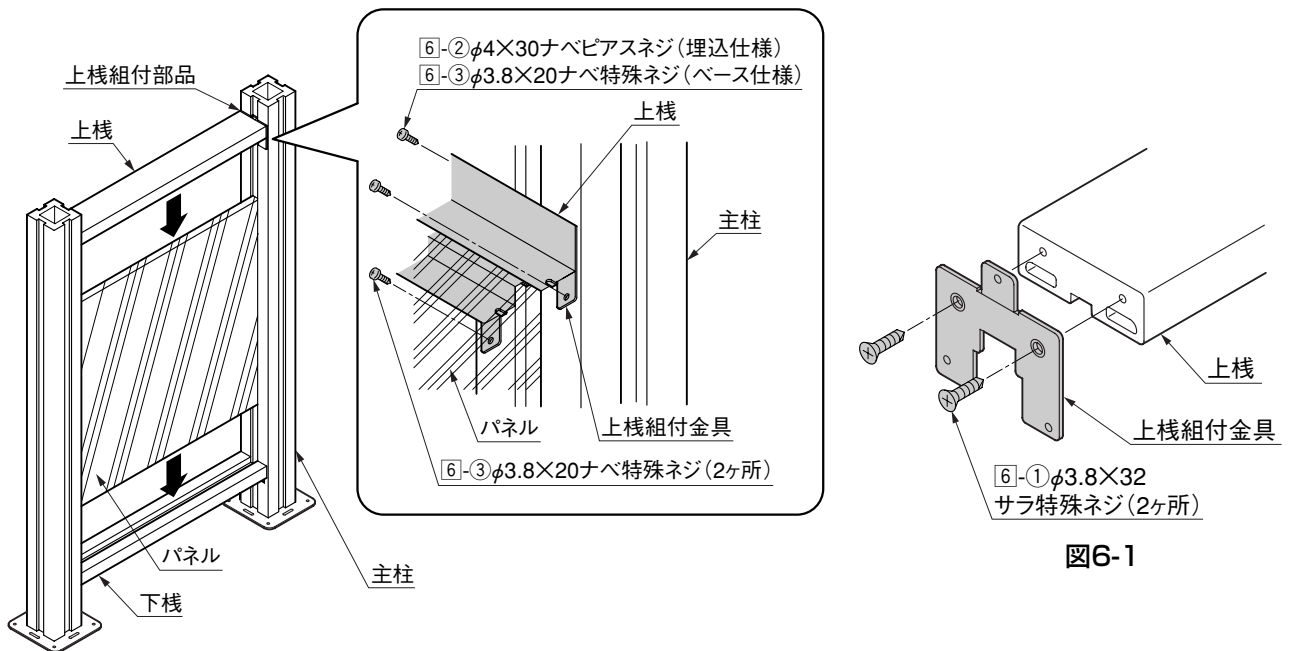


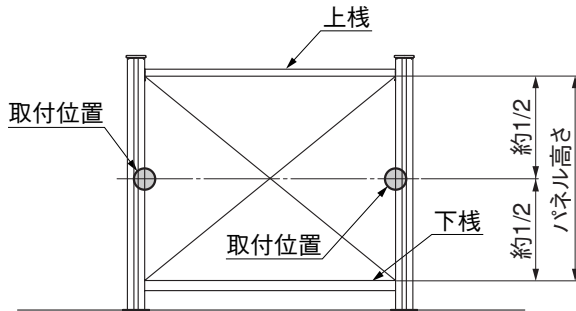
図6-1

- 1 上栈に上栈組付金具を6-1で固定してください。(図6-1参照)
- 2 柱と下栈の溝にパネルを挿入した後、上栈の溝をパネルに合わせて組付位置を決めてください。
- 3 ベース柱の場合、片側3ヶ所のネジ位置すべてにφ2.5の下孔をあけ、6-3で固定してください。
- 4 埋込柱の場合は、柱溝部のネジ位置のみφ4.5の下孔をあけ、6-2で固定してください。他はベース柱と同様です。

ポイント

- 上栈の平行および高さを確認して組付けてください。
- パネルには表裏があります。ピンネイルの打ち込んだ側が裏になります。

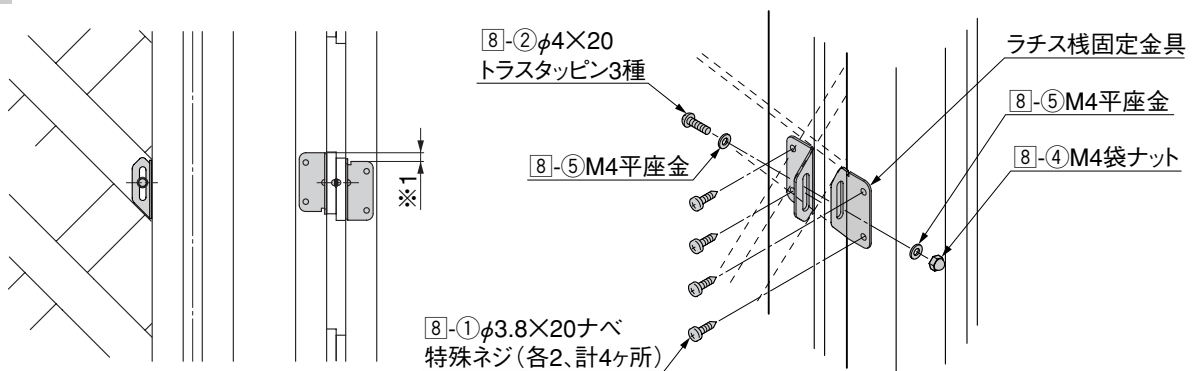
7. ラチス棧固定金具の組付け ※T-18パネルのみに必要な内容です。



ポイント

- パネル幅の切詰めの有無でラチス棧固定金具の取付位置が異なります。
- 取付位置はパネル高の中央に最も近い交点に取付けます。規格品では7段目交点が中央になります。

7-1 標準納まり

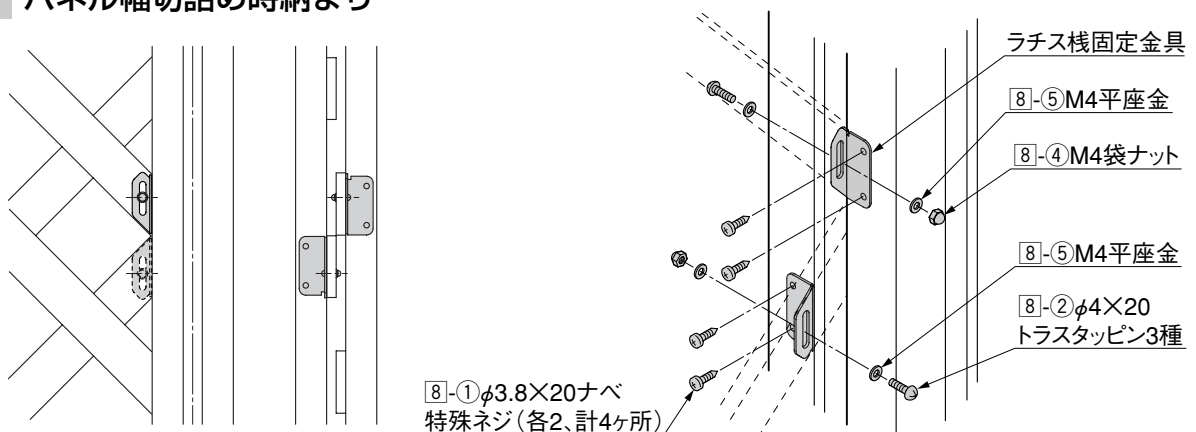


- ① ラチス棧固定金具をパネル棧に現合し(パネル棧の幅内)、φ2.5の取付用孔をあけてください。
- ② ラチス棧固定金具の長孔部よりパネル交点に、φ4.5の貫通孔をあけてください。
- ③ ラチス棧固定金具とパネル棧を、[8]-②、[8]-③、[8]-④、[8]-⑤を使って固定してください。

補足

- パネル棧を固定する位置により、使用するネジ長([8]-②あるいは[8]-③)が異なります。
- ラチス棧固定金具の高さは一致しません。(※1)

7-2 パネル幅切詰め時納まり



- ① ラチス棧固定金具をパネル棧に現合し(パネル棧の幅内)、φ2.5の取付用孔をあけてください。
- ② ラチス棧固定金具の長孔部よりパネル交点に、φ4.5の貫通孔をあけてください。
- ③ ラチス棧固定金具とパネル棧を、[8]-②、[8]-③、[8]-④、[8]-⑤を使って固定してください。

補足

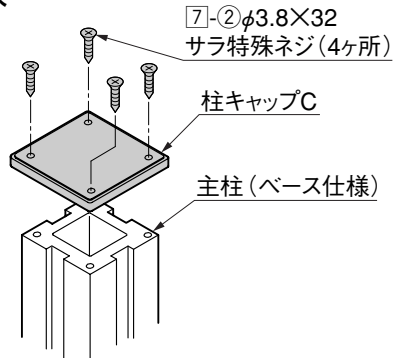
- パネル棧を固定する位置により、使用するネジ長([8]-②あるいは[8]-③)が異なります。

8. 柱キャップの取付け

補足

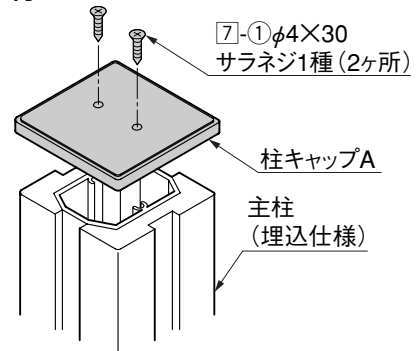
- 主柱の仕様によって柱キャップの種類が異なります。
 - ・ ベース仕様……柱キャップC
 - ・ 埋込仕様……柱キャップA

8-1 ベース仕様



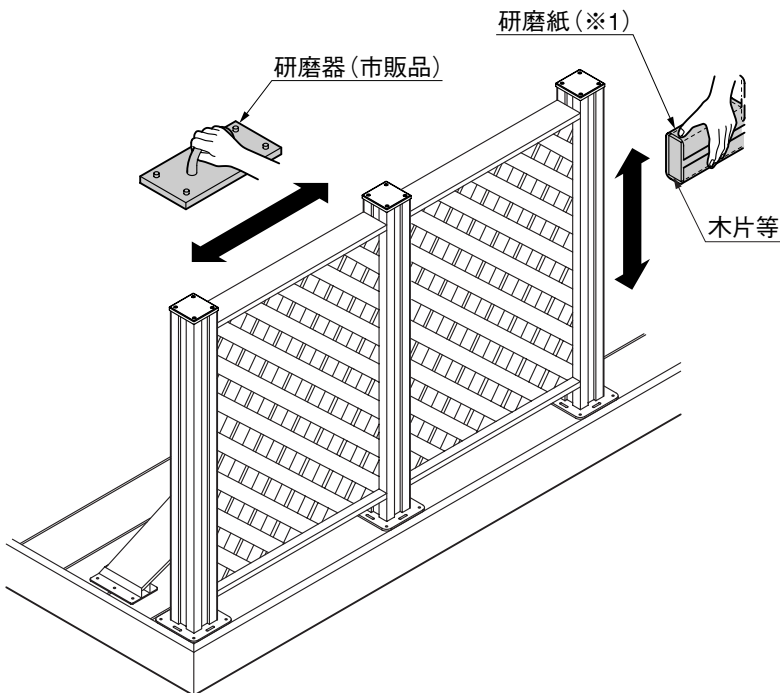
- ① 柱キャップCを柱上部に現合し、キャップ組付孔より柱上面に深さ15mmのφ2.5下孔をあけてください。
- ② 7-2でキャップを固定してください。

8-2 埋込仕様



- ① 柱キャップAを柱のタッピングホール位置と取付用孔位置を確認し、現合してください。
- ② 7-1でキャップを固定してください。

9. 施工後の仕上げ



ポイント

- 施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱してある研磨紙で補修してください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)
- 部材の研磨方向に沿って擦ってください。
- 製品お引き渡しの際は、お客様に研磨紙による補修方法について説明してください。

補足

- 市販の研磨器等(研磨紙を取付ける器具)をお使いいただくときれいに仕上げることができます。
- 市販の研磨紙を利用する際は、80番の研磨紙をお使いください。

取説コード

C281

200109A_1007